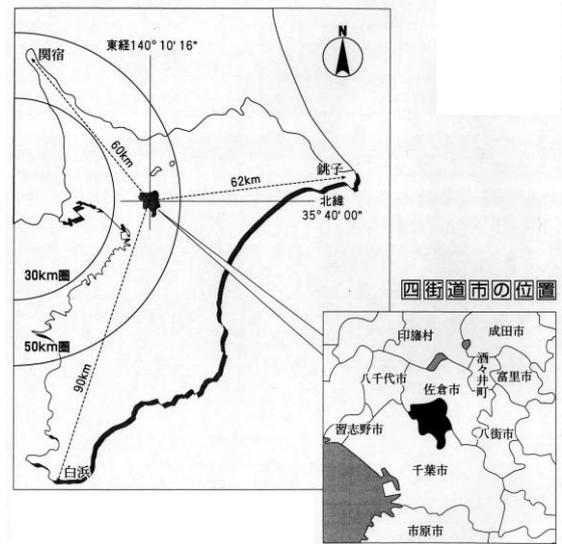


(2) 自然環境

1) 位置等

本市は、首都圏 40km 圏内に位置し、JR 総武本線、広域幹線道路の国道 51 号線、東関東自動車道が横断していることから、千葉市や東京方面へのアクセスに優れているほか、新東京国際空港に近接するという地理的条件を備えています。こうした立地条件のもと、本市は住宅都市として発展しています。

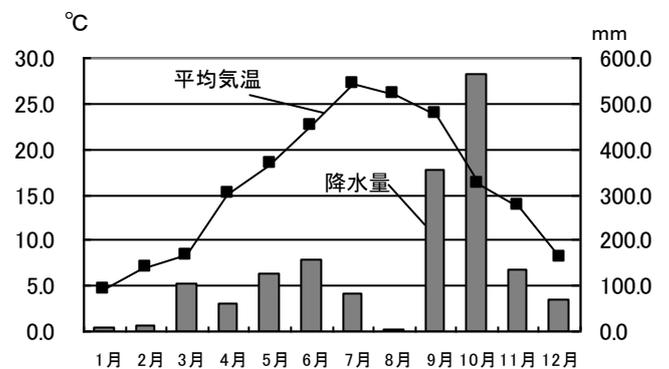
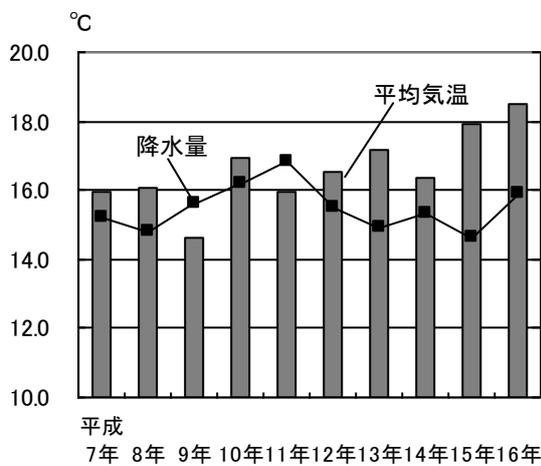
市域は、東西に 7 km、南北に 9 km、面積は 34.70 km<sup>2</sup> となっています。



■ 位置図

2) 気候

■ 気象概況 (気温及び降水量)



資料 四街道市統計書

### 3) みどりの現況

#### ① みどりの現況量

本市の緑被を航空写真（平成13年9月撮影）を用いて、以下に示す区分に分類し、緑被面積、緑被率を把握しました。また、平成7年度調査のデータと比較し、緑被の変化も把握しました。

都市計画区域のみどりの現況量は1,959.1haで、これは都市計画区域の約57%を占めています。前回調査に比べ、108.1ha減少しています。

市街化区域では、みどりの現況量は353.2haで、市街化区域の約28%となっており、前回調査に比べ57.2ha減少しています。

市街化調整区域では、みどりの現況量は1,605.7haで、市街化調整区域の約72%となっており、前回調査に比べ50.8ha減少しています。

中学校区毎でみると、市域の東側の千代田中学校区や旭中学校区でみどりの量が60%以上となっており、市域の西側に比べてみどりの量が多い状況となっています。

#### ■ みどりの現況量

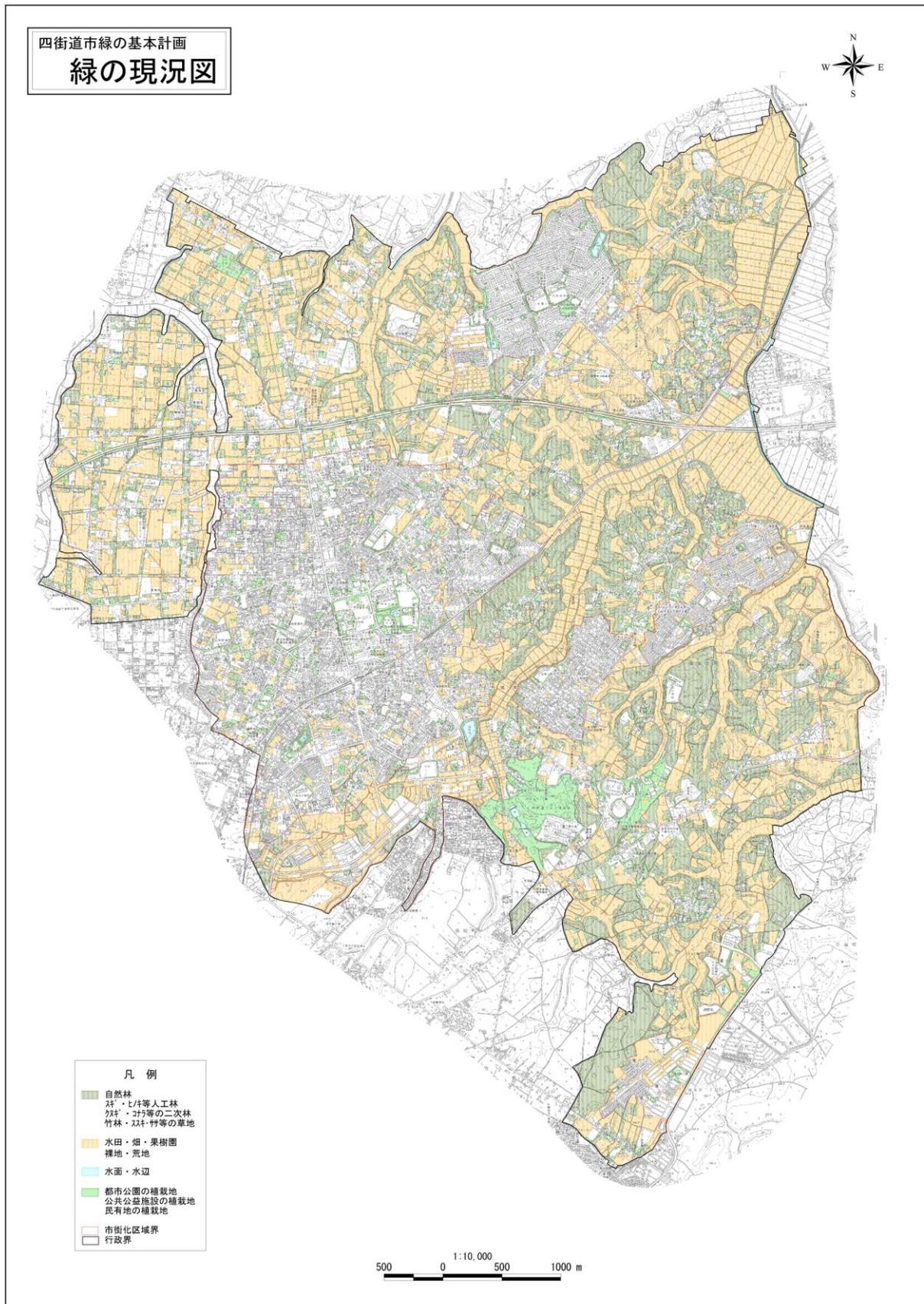
（単位：ha）

区分	市街化区域 (1)	市街化調整区域 (2)	都市計画区域 (3)=(1)+(2)
自然林	0.0 ( 0.0)	1.5 ( 0.0)	1.5 ( 0.0)
スギ・ヒノキ等の人工林	12.7 ( ▲13.8)	214.5 ( ▲1.9)	227.2 ( ▲15.7)
クヌギ・コナラ等の二次林	31.3 ( ▲17.8)	260.8 ( ▲8.6)	292.1 ( ▲26.4)
竹林	6.9 ( ▲5.1)	71.6 ( ▲1.9)	78.5 ( ▲7.0)
ススキ・ササ等の草地	6.0 ( ▲1.9)	20.3 ( ▲10.5)	26.3 ( ▲12.4)
水田	1.2 ( ▲4.1)	208.9 ( ▲57.3)	210.1 ( ▲61.4)
畑	48.9 ( ▲21.3)	450.8 ( ▲29.5)	499.7 ( ▲50.8)
果樹園	1.2 ( ▲0.9)	42.7 ( ▲2.3)	43.9 ( ▲3.2)
裸地・荒地	175.7 ( ▲0.3)	225.8 ( 50.4)	401.5 ( 50.1)
水面	3.5 ( 0.0)	10.0 ( 0.2)	13.5 ( 0.2)
水辺	0.0 ( 0.0)	0.0 ( 0.0)	0.0 ( 0.0)
都市公園の植栽地	20.2 ( 7.7)	9.9 ( ▲0.1)	30.1 ( 7.6)
公共公益施設の植栽地	15.2 ( ▲1.4)	10.3 ( ▲0.2)	25.5 ( ▲1.6)
民有地の植栽地	30.4 ( 1.6)	78.8 ( 10.9)	109.2 ( 12.5)
合計	353.2 ( ▲57.3)	1605.9 ( ▲50.8)	1959.1 ( ▲108.1)
区域面積(ha)	1245.0	2225.0	3470.0
緑被率(%)	28.4 ( ▲4.6)	72.2 ( ▲2.3)	56.5 ( ▲3.1)

注：航空写真（平成13年9月撮影）からの判読結果を図上計測

※( )内は平成7年度調査からの増減

■ みどりの現況図



#### 4) 河川・都市下水路等

主な河川・都市下水路として、鹿島川が本市の北東部に接しているほか、手繰川、勝田川が本市の北東部を、並木川が本市南部を、小名木都市下水路が市内の中央部を流れています。

#### 5) 土地自然特性

自然的・歴史的・文化的な視点からみて、本市の特性を表しており重要と捉えられるみどりについてとりまとめました。

##### ①貴重な植物

長岡地区には潜在植生とされているスタジイーヤブコウジ群集の自然林が残っており、重要な植物群落といえます。

市内には古木・名木・樹木等が多くあり、そのうちいくつかは市の保存樹木に指定されています。これらの保存樹木は、いずれも樹齢 100 年を越えていることから、本市にとっては重要な植物といえます。

本市には、キツネノカミソリ、ヨウラクラン、ガマ、ハンゲショウ、タコノアシ等の野草が多く自生しており、里山環境を形成する重要なみどりといえます。

(資料：平成 6 年度自然観察地整備調査、「歴史の散歩道〈樹木・樹林編〉」(市発行)等)

##### ②まとまった樹林地

主に市街化調整区域内には、古くから農林業の営んできた地域において、森林や屋敷林等が残っており、市全体からみると、大きなまとまりのあるみどりとして重要といえます。

しかし、近年の農林業の経営状態などが厳しいことなどから、これらの樹林地の一部では十分な手入れがなされず、荒れているところも多い状況となっています。

##### ③谷津田

谷津田は北総台地の谷間の湿地を活かした田んぼで、本市の地形を活かした特色ある重要なみどりとなっています。しかし、近年一部で耕作放棄地や休耕地となり、十分な手入れがされず雑草に覆われているところがみられ、かつての美しい谷津田の風景が失われつつある状況となっています。

##### ④野生動物の生息地等

本市に点在する樹林地、河川や調整池等の水辺地、農地等では、ホタル(ヘイケボタル)カブトムシ、クワガタ、トンボ(オニヤンマ、ギンヤンマ)等の昆虫のほか、サシバ、カケス、カワウ、オナガ、アマツバメ、ハシビロガモ等野鳥も目撃されていることから、野生動物の生息地として重要なみどりといえます。

(資料：平成 6 年度自然観察地整備調査等)

### ⑤湧水地・水辺地

台地の縁辺の一部では、台地に降った雨などの水の染み出し口となっています。これらの染み出し水は谷津田に供給され、水路や河川へ流れ出ています。大きな河川や湖沼、海岸がない本市において、水が染み出す台地の縁辺部、水路は特色ある重要な水辺地といえます。

市内の調整池には、公園と一体となったものや常に水がためられているものがあり、これらの場所では市民の憩いや野鳥などの観察に利用され、重要な水辺地となっています。

(資料：平成6年度自然観察地整備調査等)

### ⑥歴史を伝えるみどり

鹿放ヶ丘の防風林は、かつての人々が苦勞して開拓した農地や住宅を守るために植えられてきたもので、本市の歴史を今に伝えています。また、四街道駅から北へ向かう県道四街道・上志津線には樹齢100年を越す松並木があり、戦時中に松根油をしぼった傷などが残され、古くからの四街道の風景や歴史を伝える重要なみどりといえます。

四街道地名発祥の地である十字路には道標石塔と大きなエノキがあり、これらは一体となって四街道の地名の由来を伝えています。このように史跡などの一体となったみどりは、本市の歴史を伝える重要なみどりといえます。

(資料：「歴史の散歩道」)

### ⑦地域の祭り等の伝統を伝えるみどり

和良比大六天皇産霊神社の「裸祭り」、内黒田熊野神社の「裸参り」、栗山香取神社の「栗山ばやし」等、本市には各地域で多くの祭り等のイベントが行われています。こうした地域の祭りや行事がおこなわれている寺社は、古くからの伝統を伝えるとともに、地域のコミュニティにとって重要なみどりといえます。

(資料：「歴史の散歩道〈イベント編〉」)



キツネノカミソリ



まとまった樹林地



竹が入り込み、荒れた樹林地



谷津田



ヘイケボタル



千代田の調整池



鹿放ヶ丘の防風林



「裸参り」が行われる  
内黒田熊野神社

### (3) 住民意向調査

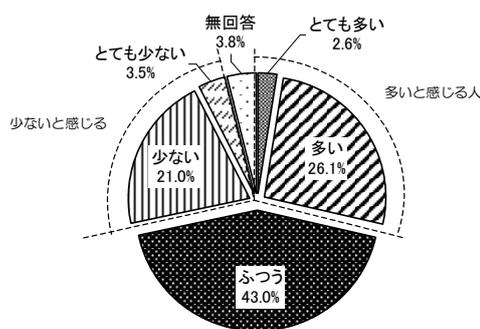
本調査は、みどりの基本計画策定の基礎的資料とするために、市民のみどりに対して感じていること、みどりのあり方に対する考え方等について把握することを目的として平成12年度に実施されました。

#### ■ 調査の概要

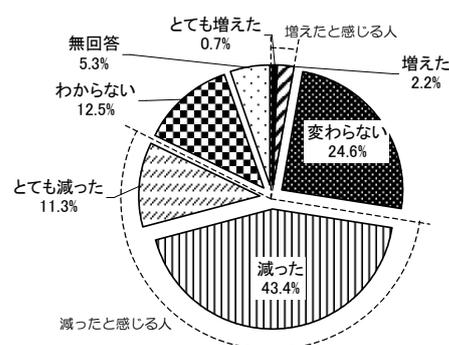
実施日	平成12年9月15日～10月15日
対象者	14歳以上の市民2,000人
対象者の抽出方法	住民基本台帳より 地区毎、年齢層毎に抽出
調査方法	アンケート調査（郵送配布郵送回収）
配布票数	2,000票
回数票数	733票
回収率	36.7%

#### 1) みどりの量

市全体のみどりの量は、身近なみどりの量と同様に「多い」「少ない」と意見が分かれています。市全体のみどりの量の変化では、減ったと感じる人が半数を超えており、減った理由としては、「都市の開発」をあげる人が多かったです。



市全体のみどりの量



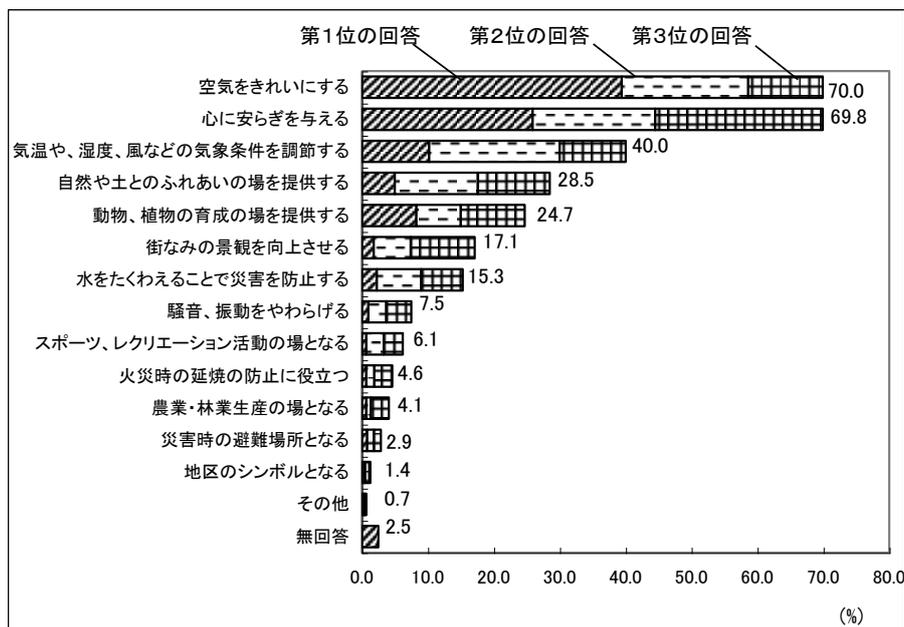
市全体のみどりの量の変化

(5,6年前と比較)

## 2) みどりのイメージ

重要だと思うみどりの役割を、順に3つまで回答していただきました。その結果、「空気をきれいにする」、「心に安らぎを与える」は、約70%の市民の方が回答し、重要な役割と考えている人が多いことが分かります。また自由記入の中では、「みどりに対する重要性、役割、大切さ」、「市への要望、提言」についての意見が多く、このほか「すべて重要」あるいは「重要なものを3つだけを限定できない」等の意見がありました。

気に入った場所、四街道らしい風景としては、「総合公園、中央公園」、「谷津田、田んぼ、田園風景」等をあげる人が多かったです。



みどりの役割に対するイメージ

※重要と思う順に3つまで回答

### ■ 気に入った場所、四街道らしい風景

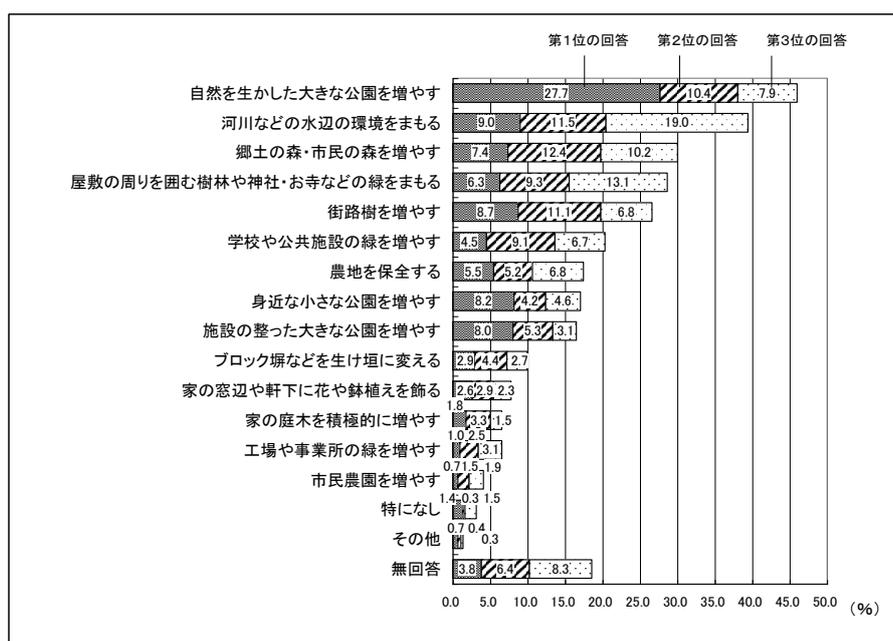
多い回答ベスト10	
1位	総合公園、中央公園
2位	谷津田、田んぼ、田園風景
3位	駅前の松並木
4位	郷土の森、市民の森
5位	神社、寺の樹木、民家
5位	小名木川、鹿島川周辺
7位	美しが丘（公園）
8位	旧街道、ガス灯通り
8位	雑木林、里山の風景
8位	鹿放ヶ丘

※自由記入による回答の集計

### 3) みどり豊かな四街道市にするための施策

1位から3位まで回答の総数についてみると、「自然を生かした大きな公園を増やす」が最も多く、次いで「河川などの水辺の環境をまもる」、「郷土の森・市民の森を増やす」が多い結果となっています。

回答の割合が高い項目は、行政主導による事項が多い一方、「ブロック塀を生け垣に変える」、「家の窓辺や軒下に花や鉢植えを飾る」、「工場や事業所の緑を増やす」等の市民や事業者など民間が行う事項は比較的割合が低い結果となっています。



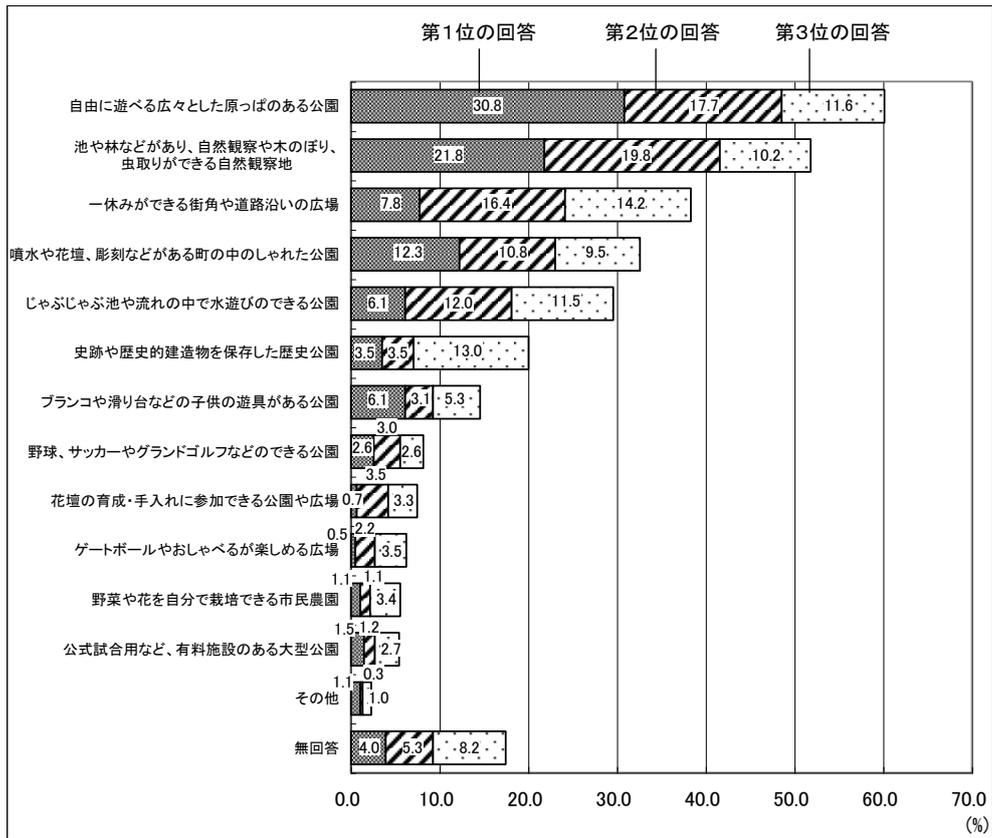
みどり豊かな四街道市にするための施策

※重要と思う順に3つまで回答

### 4) 今後市民が望む公園

第1位から3位までの回答の総数でみると、「自由に遊べる広々とした原っぱのある公園」が最も多く、次いで「池や林などがあり、自然観察や木のぼり、虫取りができる自然観察地」、「一休みができる街角や道路沿いの広場」の順となっています。

記入意見では、具体的に「七井戸公園」、「泉自然公園」、「青葉の森公園」、「佐倉城址公園」のような公園を望む意見がありました。



今後市民が望む公園 ※重要と思う順に3つまで回答

### 5) 緑化活動への参加・協力

「公園の草刈りや清掃に協力する」、「家の庭木や花を積極的に増やす」、「家の窓辺や軒下に花や鉢植えを飾る」の割合は、45%を超える高い割合となっています。また、消極的な回答である「特になし」は約7%と低い割合となっています。

